

R7_0408 始業式講話

新しい年度が始まり、皆さんの学年は1つずつ上がりました。卒業式で吉田松陰の「志を立てて もって 万事の源となす」という言葉を取り上げ、終業式では「自分で考え、決定し、行動する」人を目指して欲しいという話をさせてもらいましたが、新年度を迎えて、皆さんの胸の中に期するものは生まれているでしょうか。

さて、先日、AI のビジネスでの活用について紹介しているテレビ番組を見る機会がありました。その中で、専門分野の知識や情報を詳しく取り込ませた AI を活用して販売戦略のアイデアを作って企業に提供するビジネスや、社員で会議した内容を取り込ませて AI に結論を委ねているという事例が紹介されていました。番組内では、「AIの方が、人間が囚われている先例や考え方に縛られない案が出てくる」として評価されていましたが、私は便利さよりも、AI がこれほど人の社会に立ち入ってきていることに不安を感じました。

しかし、このような時代に、AI が大量の知識を駆使して、短時間で人が思いつかない案を出したとしても、実行に移す段階では人同士のコミュニケーションによる調整が必要です。また、AI が出した結論を採用するかどうかは人が最終的に“決断”しています。

昨年の入学式で「AI が台頭してきている今、自分だからできることを考え、行動できる人を目指して欲しい」というお話をしました。

人が人と対話し、考え、決定して、行動する一連の流れでは、責任感・説得力・信頼感などが生まれてきます。AI とのつきあいでは、このような人とのつながりで生まれる感情は期待できません。

今年、皆さんには、自ら考え、周りの人との対話を大切に、協働して理解を深められるようにして欲しいと思います。中でも「総合的な探究の時間」では、調べればすぐわかるような課題でなく、“答えのない”課題にチャレンジし、時には自ら足を運んで調査するなどして、自分で結論に近づこうとしていって下さい。その姿勢は皆さんの自信にもつながり、自分の考えを伝えたいという発信力を磨くことにもつながるのではないかと思います。

今日から、新しいクラスで、新しい仲間や先生との出会いがあります。環境が変化したことで、期待と不安が入り交じっているでしょうが、三木北高校では、授業・部活動・生徒会活動などの校内での活動のほか、地域社会でも、自分で考え、行動できる機会があります。皆さんの内に持っている「志」を持続して、粘り強く取り組みを続けることで成長を遂げられるよう、先生方や仲間とのコミュニケーションを大切にして今年度も頑張っていって下さい。